

```
docker run --name influxdb --network mynetwork -d -p 8086:8086 ¥
```

- e DOCKER_INFLUXDB_INIT_MODE=setup ¥
- e DOCKER_INFLUXDB_INIT_USERNAME=admin ¥
- e DOCKER_INFLUXDB_INIT_PASSWORD=admin001 ¥
- e DOCKER_INFLUXDB_INIT_ORG=MyDataServer ¥
- e DOCKER_INFLUXDB_INIT_BUCKET=my-bucket ¥
- e

```
DOCKER_INFLUXDB_INIT_ADMIN_TOKEN="jG99-jU4YqMZixUN3IGoBCdQ7iAbekCXPkaM2SEvHXt0lXEQKMDkJppaiXYn66bnsOuaEDZ323k1p3EYIHw-zg==" ¥
```

```
influxdb:2.0
```

--name オプションでコンテナのお名前を設定します。他のコンテナからはこの名前を指定して通信できます。

--network オプションで接続するネットワークを指定します。今回は、データ・サーバ関連コンテナのみで使用する閉じたネットワーク（mynetwork）に接続します。

-p オプションは、ホストのポート番号とコンテナのポート番号をマッピングする指定で、ホストの 8086 ポートにアクセスしたらコンテナのポート 8086 にデータが送られるようになります。

-e オプションはコンテナの環境変数設定で、以下の値が設定されます。

```
+-----+-----+
| 項目      | 設定値          |
+-----+-----+
| Organization | MyDataServer    |
| API トークン | jG9- ??? YIHw-zg== |
| ユーザ      | admin           |
| パスワード  | admin001        |
+-----+-----+
```